

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索



「推進法」廃止へ国会議員要請

東京社保協第1回国会行動

4月17日、東京社保協第1回国会行動を、東京土建・民医連、地域社保協から82人が参加して行いました。

福井副会長の開会のあいさつに続き、田村智子参議院議員からTPP交渉の現状など国会情勢報告をうけ、その後、田村議員に「推進法」廃止の請願署名を手渡しました。



国会議員要請行動を行うにあたって、「社会保障制度改革推進法」の危険な内容について、相野谷安孝中央社保協事務局長より、「推進法の正体」パンフレットを使っての学習会を行いました。

学習会終了後、11班に分かれて東京選出と衆参の厚生労働委員（ほとんどが秘書対応でしたが）54人に議員要請行動を行いました。

「推進法」廃止署名を大きくひろげ、次回国会行動（6月5日予定）で多くの国会議員

東京土建は国民的4課題で奮闘中

東京土建は「消費税増税阻止」「社会保障改悪反対」「反TPP」「原発再稼働反対」を国民的4課題と位置づけ、本部と全支部で闘争本部を設置し取り組んでいます。

生活に大きく影響のある4課題の取り組みを前進させるために、組織内の広範な要求の結集をはかり、参議院選挙を見据えてたたかいの山場を想定し、秋ごろ

まで運動を強化発展させていきます。

地域では4課題をテーマに情勢学習会を行い、宣伝チラシを作成し、関係団体と共闘して国民一人一人に訴えかける宣伝行動を行っています。



東京民医連の「医療・福祉の拡充」を求める署名の取り組み

東京民医連は、東京都議会に向けて「医療・福祉の拡充を求める陳情署名」に取り組んでいます。

昨年の都知事選挙で猪瀬知事が誕生しましたが、新年度予算は、石原都政を継承し都市部の大規模開発、高速道路・空港・港湾整備やオリンピック招致を進める立場です。

東京都の医療・福祉分野の水準は全国でも最低クラ

スです。救急医療体制、特養ホーム待機者、看護師不足、高い国保料と増え続ける滞納世帯など課題は山積んでいます。

今年には都議会選挙（6月13日告示、6月23日投票）が行われます。都民の切実な要求を都政に反映する絶好の機会です。この署名で、地域訪問を進め、大いに対話宣伝を進めて行きたいと思っています。

各地域で総会を開催

台東社保協

3月29日、台東社保協は東京土建台東支部会館に8団体42人が参加して第19回総会を開催しました。

総会の冒頭、都生連の坂口忠男会長の「権利としての生活保障制度について」の記念講演をうけ、生活保障制度の仕組みと安倍政権の生活保障への攻撃の中身についての説明に会場は驚きの表情が流れていました。

総会は、遠藤会長のあいさつ、東京社保協の寺川事務局長と秋間区議会議員の来賓あいさつで開始しました。その後、介護保険に関するヘルパーアンケート活動、国保の保険料引き上げに対する意見表明ハガキ等の1年間の活動報告と会計報告、運動方針案、予算案の報告をうけ討議を行い、運動方針と予算案、役

員体制を確認し、総会宣言を全体で確認しました。なお、総会の席上で「推進法」廃止署名を37筆集約しました。(新島事務局長)

大田社保協

3月19日、大田社保協第32回総会を開催しました。

総会には10団体18人の参加があり、幹事会から提案された議案と決算・予算の論議と採択、新役員体制を決定しました。

総会の冒頭、東京社保協の寺川事務局長からあいさつをいただき、社会保障制度改革推進法の危険な狙いと具体化されつつある社会保障の総改悪の内容が紹介され、大田社保協で



も積極的な学習会活動を軸に運動を強めていただきたいとの訴えをうけました。

総会は、構成団体からの活動報告と議案論議を中心に進められ、区労協からは役員会で社会保障問題のミニ学習会を重ね認識を深めている。新婦人からは、

介護施設を増やす運動、区議団からは待機児問題解消のために区の予算を組み替えさせる運動を展開してきたなど、各団体が重視して取り組んでいる課題について積極的な発言が続きました。

今後の活動の柱として、大田区政の学習を重視することや国保問題での区民運動を展開していくことなどを確認しました。

西東京社保協

4月21日、西東京市民会館にて第13回西東

「推進法」廃止署名に全力を

30万筆をめざす「推進法」廃止署名活動を各団体・地域で全力をあげて取り組みましょう。

- ▽署名用紙はありますか？無い場合は事務局まで連絡を！
- ▽学習会を開催しましょう。講師は事務局に相談を。
- ▽署名推進に向けて、宣伝グッズ(ティッシュ)の検討中です。
- ▽各地域で宣伝行動を他団体とも調整して計画しましょう。

京社保協総会を35人の傍聴などこの1年間の参加で開催しました。

総会は、矢野会長の開会あいさつに続き、東京社保協の相川事務局長が来賓のあいさつを兼ねて「社会保障制度改革推進法って何」と題して報告し総会にうつりました。

清瀬社保協

4月20日、清瀬社保協総会が38人の参加で開催されました。

岡本事務局長が、「税と社会保障の一体改革」(相野谷中央社保協事務局長)「口から見た社会保障」(矢野会長)「生活保障STOP!」(田所弁護士)などの学習会、西東京市との懇談、議会

各地で学習会や行動が

で私達に何ができるのかを考えさせる講演でした。医療・購買生協などの連携による定期的個別訪問による見守り活動重視の取り組みや、行政などに働きかけつつ、私達を取り囲む状況を把握しながら活動していくことの大切さが語られました。総会は、講演のあと今後の取り組みなどを参加者で交流して終了しました。

(山崎事務局次長)

江戸川相談会

4月20日、江戸川社保協が「なんでも相談会」をタワーホール船堀で実施。雨の中、街頭での声かけと、事前の1万3千枚のチラシ配布(新聞折り込みを含む)で「相談会」への呼びかけを

実施しました。宣伝で声をかけた学生さんから「年金の督促状が届いたがどうしようかと悩んでいた」折り込みチラシを見て、町工場の経営者が「一人ぐらしの社員が病気で入院したが退院後が心配で」と相談に来られるなど、年金・医療・介護・税金・生活保護などの相談が7件寄せられました。

三鷹学習会

(小永井事務局次長)

4月22日、三鷹社保協が「ワーキングプア・生保・憲法学



習懇談会」を東京社保協前沢事務局次長を講師に30人が参加して開催しました。不正受給攻撃の実態と狙い、先進国の受給者数との比較、憲法25条・13条などのほか、最賃保障制度の切り下げなど、豊富な資料を駆使して、切れ味のよい講演でした。

(柳澤事務局長)

習懇談会」を東京社保協前沢事務局次長を講師に30人が参加して開催しました。不正受給攻撃の実態と狙い、先進国の受給者数との比較、憲法25条・13条などのほか、最賃保障制度の切り下げなど、豊富な資料を駆使して、切れ味のよい講演でした。

風しんワクチンの無料化を!

都内では、2月以降6週連続で百人を超える風しん患者が発生しています。患者は、定期予防接種の機会が無かった30代以上の男性が中心ですが、免疫の無い女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風疹症候群(CRS)と総称される疾患・症状を引き起こすことがあります。注意が必要です。ワクチン接種は、先天性風疹症候群の予防を第一の目的考えています。都は、区市町村に予防接種費用の半分を補助する対策を進めています。23区だけをみても助成に差があるのが現状です(左図参照)。ワクチン接種の無料化に向けて助成拡大の運動をすすめます。

	対象者	MRワクチン	風しん単独ワクチン
世田谷区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	5000円助成	3000円助成
練馬区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
大田区	20~49歳の区民	3000円助成	3000円助成
江戸川区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
足立区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	5000円助成	3000円助成
杉並区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	ワクチンの実費(上限10500円)	
板橋区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	ワクチンの実費(上限10000円)	
江東区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
葛飾区	19~49歳の区民	5000円助成	3000円助成
品川区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
北区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
新宿区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の同居家族	自己負担5210円	自己負担3140円
中野区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	6000円助成	6000円助成
豊島区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
目黒区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
墨田区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
港区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の同居家族等	6000円助成	3000円助成
渋谷区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	5000円助成	3000円助成
荒川区	19~49歳の区民	全額助成	
文京区	20~49歳の区民	ワクチンの実費(上限10000円)※1	
台東区	20~49歳の区民	全額助成	
中央区	19歳以上の妊娠予定・希望の女性と妊婦の夫	全額助成	
千代田区	20~49歳の区民	全額助成※2	

※1「妊娠を予定または希望している女性」、「妊娠している女性の夫(現の父親)」以外は3000円を助成
 ※2HP上では「風しんワクチンのみ助成となっているが、MRワクチンも接種可能 4/23現在、東京保険医協会調べ

第40回 東京社保学校 第二報

『一体改革』阻止に向けた交流集会

日時

2013年5月11日(土)
午前10時開会～午後4時半(9時半開場)

会場

けんせつプラザ東京
(東京土建本部会館 JR大久保駅下車徒歩3分)

第1講義 憲法問題

横山 聡氏 (東京第二弁護士会副会長)



東京大学法学部卒、前自由法曹団東京支部事務局長 現在、東京第二弁護士会副会長
主な弁護団事件：トンネルじん肺、首都圏建設アスベスト訴訟など

第2講義 高齢者にやさしい街づくり

池上 洋通氏 自治体問題研究所 (主任研究員)



日野市職員、自治体問題研究所事務局長、月刊住民と自治編集長などを歴任、現在、自治体問題研究所主任研究員 主な著書：市町村合併これだけの疑問、地域活動事始めなど多数

第3講義 生活保護切り下げ問題

稲葉 剛氏



1969年広島生まれ、1994年より東京・新宿を中心に路上生活者の支援活動に関わる。
2001年NPO法人自立生活サポートセンター・もやいを設立し、現在、もやい代表理事。
埼玉大学非常勤講師、著書に「ハウジングプア」「とっちらかりの10年間」など

* 資料代500円

第40回東京社保学校 参加申込書 2013年 月 日

締め切りは5月8日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel.03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823